

〔八雲御抄名所〕津

おほとものみつの攝はまいつ、なにはづ同 万 たかつめし所なり、えなづし同也、むこのゆらみ、  
まかつ近 万 おほつのおほつ、まか 玄ほつる同浦と、いへり、かいつ同 あきた万、  
幸臨 なりた同上 万 さきたまの いちるはらひ

〔藻鹽草水邊〕津

高津をの國西生郡つは久堅のあまのさくめは岩舟敷津同しきつ船ながら今夜計は旅れせ難波津  
同舟よそはみふれおるす、この花、若葉、うみわたるふれあての八重がきり、な 大伴御津同、濱松あま  
つと玉はいはらあ、月、戀、舟、し、り、松、原、又、只、み、た、つ、共、云、り、大、伴、と、み、朴、津、つ、見、わ、た、せ、吉、の、系、な、づ、ら、に、ち  
ふいな人御津出、あ、ま、月、み、こ、も、り、を、か、り、あ、げ、て、ほ、く、も、う、き、め、を、み、つ、白、妙、の、み、戀、は、ま、松、あ、し、春、の、色、明  
まぼ乙女くめつ、あ、ま、玉、も、舟、の、り、寺、在、之、あ、八、津、同、或、云、い、づ、足、の、手、つ、ま、の、我、き、た、ら、ん、か、な、八、ち、ぬ、津  
にいづ心也、鹽津、近、江、花、駒、名、は、い、ひ、て、し、な、あ、ほ、つ、を、さ、さ、し、て、こ、か、い、津、同、上、八、大、津、同、ら、ば、我、命、ま、み、ん、と、ま、に  
馬宮の大橋、は、ま、の、ま、さ、ご、桃、津、之、歌、祇、注、ね、ぎ、た、津、石、見、海、べ、を、さ、し、て、わ、か、葉、を、は、む、駒、崎、玉、津、崎、玉、州  
郡み綱は玉のつ、も、こ、と、な、た、の、風、を、い、室、津、能、登、す、し、舟、引、津、さ、ち、弓、な、の、り、あ、づ、荒、津、同、上、ま、つ、る、神、君、戀、千、の、  
櫛津伊興ひさすな、り、こ、ば、ゆ、か、せ、に、あ、ど、ひ、ま、い、ち、ひ、秋、田、津、同、上、百、敷、の、大、熟、田、津、同、右、り、せ、ん、り、た、づ、き、し、  
みなべ何ぞも君の志賀津、近、江、こ、が、れ、て、ぞ、ふ、る、同、名、伊、勢、に、有、都、具、を、よ、め、り、ば、よ、

三津

〔和漢名數地理〕日本三津

坊津薩摩 博多津筑前 阿濃津伊勢

〔倭訓栞前編十六〕つ

三箇の津といふも、坊の津、博多の津、安濃の津をいふよし、武備志に見え、仁

徳天皇の時に定められたる事、伊勢風土記に見えたり、